



桑原測量 Report



株式会社 桑原測量社
2009年7月13日発行

” 地域・社会に貢献できる元気で豊かな会社をめざして”

グアム島（恋人岬を望む）

topics

Kuwa Soku Report 1 ● 社長メッセージ

- ◆ 経済不況と企業のイノベーション（代表取締役社長 桑原清一）

Kuwa Soku Report 2 ● 新入社員紹介

- ◆ 折橋 和久さん（平成21年2月） ◆ 村松 和樹さん（平成21年3月）
- ◆ 青木 完さん（平成21年4月） ◆ 高橋 大樹さん（平成21年5月）



ブルメリア

Kuwa Soku Report 3 ● 技術情報

- ◆ 実用化へ向けての【除雪車支援ICTシステムの研究開発】がスタート
- ◆ 3Dスキャナーによる測量事例の紹介
- ◆ 妙高市が「GISとGPS」を活用した、「除雪管理システム」を本格導入

Kuwa Soku Report 4 ● 国家又は公的資格合格体験記

- ◆ 第2種下水道技術者【飯塚和美さん】 ◆ 補償業務管理士(物件・事業損失部門)【渡邊 文さん】
- ◆ 水路測量技術(沿岸1級)【滋田直樹さん】 ◆ 第2種衛生管理者【山下美智子さん】
- ◆ 情報処理技術者(基本情報技術者)【折橋和久さん】

Kuwa Soku Report 5 ● 社内外活動報告

- ◆ 高田城趾公園百万人観桜会 ◆ グアム研修ツアー体験記
- ◆ 不況に負けるな「桑原測量社総決起大会」

Kuwa Soku Report 6 ● 社員投稿記事

- ◆ 棚田稲文字制作に、測量技術で協力しました（清里区）

Kuwa Soku Report 7 ● 桑原測量社 広報室から



ブーゲンビリア



代表取締役社長 桑原清一

おかげさまをもちまして、当社も昭和23年の創業以来、「地域や社会から必要とされる企業」を目指し、60年の歴史を刻むことができました。これも、皆様はじめ多くの方々のご指導、ご鞭撻のおかげと深く感謝申し上げます。

当社では、社是の「人格・正確・迅速」と、昨年12月27日に亡くなられた創業者の桑原清作氏が社員に残された「花には水を、人には愛を」が、社員の人格形成の指針となっております。社長就任から2年が経過しましたが、氏のこの指針に基づき「大切に思う人とのつながり」の社風を継承し、社員と一体となり社業に邁進いたします。

100年に一度と言われる未曾有の経済不況下で、当社も例外ではなく売上高の減少を余儀なくされています。また、業界を取り巻く社会環境が大きくかつ、スピードを持って変化しようとしています。このような状況下において当社では、GIS（地理情報システム）技術、GPS技術、3Dスキャナー活用技術をはじめとして、当社の強みを活かし、異業種とのコンソーシアム、大学との共同研究等による産学官連携による新技術を利用したビジネス展開の拡大に鋭意努力をしているところです。しかしながら、その根底には、今までに蓄積された測量を根幹とする様々な技術基盤のうえに成り立っていることを忘れてはなりません。

今後も、この技術基盤をさらに研鑽し、その技術を活かしながら測量・建設業界のみならず他業種へのビジネス展開を重点目標として、「地域や社会から必要とされる技術集団の企業」を目指してまいります。また、お客様から満足して頂ける製品やサービスの提供に心がけた事業活動を役職員一丸となって、今後も展開してまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

なお、当社の現状や活動及び事業領域の詳細は、ホームページ及び桑測レポートにより情報を発信しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

Kuwa Soku Report 2

● 新入社員紹介

21年2月入社

折橋 和久さん



企画総務部・地理情報システム開発室で奮闘中の折橋和久です。前職は電気部材の卸売業で、売上や在庫などのデータ管理をメインに接客販売や在庫管理をしていました。メーカーとお客様との間で、数円・数億円単位の激しい値段交渉も経験してきました。

現在、GISの開発から戦略、普及などGISに絡むあらゆることに取り組んでいます。GISの可能性を大いに引き出すため、勉強の毎日です。「GPSと違うの？ジス？JIS規格じゃなくて？え？ちーあいえす？」そんなレベルからスタートして早数ヶ月、まだまだ初心者で、パソコン画面にとらめっこの日々ではありますが…

測量業、GISともに私にとってははじめての世界、早く諸先輩方に近づけるようがんばっていきます。よろしくお願ひします！

21年3月入社

村松 和樹さん



今年の3月に入社しました村松と申します。新入社員とはいえ、株桑原測量社とは付き合いが長く遊ばれば16年前くらいにアルバイトでお邪魔したのが最初でしょうか。それからずっとお世話になってきましたが、今回縁あって入社することになりました。

何かと厳しい時代で、変化とスピード、時間とコスト管理が求められる時代になってきてますが、これまでの様々な経験を生かしつつ、また確かな技術を身に付けるべく、いろいろと勉強させて頂きながら頑張っていきたいと思ひます。

プライベートでは、3人の子供がおり、多忙を極めますが、仕事と子育てをうまく両立させていきたいと思ひます。皆様には、ご迷惑をお掛けするかと思ひますが、宜しくお願いします。

21年4月入社

青木 完さん



この度、新潟県土木部を退職し、4月1日から当社技術顧問として勤務させていただいております青木 完です。

これまで、41年間に渡り県の土木部職員として、県民の安全・安心な生活と地域環境づくりのため、社会資本整備の事業進捗に携わって参りましたが、当社のモットーであります『地域・社会に貢献できる元気で豊かな会社を目指す』に大変強く感銘すると同時に、新たな気概と使命感を持って、会社の発展に貢献したいと思っております。

建設産業界を取り巻く情勢は、かつてない大変厳しい状況ではありますが、それぞれに与えられた仕事の場において全力で取り組むこと、自己研鑽に励むこと、そして地域社会人としてのコミュニケーションを大切にすること、を心掛け微力ではありますが前向きに頑張っていきたいと思ひます。今後とも、お互いの趣味の交流も含めて、皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

21年5月入社

高橋 大樹さん



皆様いつもお仕事ご苦労様です！！この度5月に入社いたしました高橋大樹です(^-^)

昨年度まで大学に通いながらアルバイトをいくつか経験してきましたが、やはりアルバイトよりも何倍、何十倍、何百倍と社会人として働くことの大変さを感じている毎日です。入社してそれなりに日数も経ち、少しずつ仕事場の環境にも慣れてきました。これからの目標として、1日でも早く測量に関する知識、技術力を身につけると同時にいろいろな資格にもチャレンジしていきたいと思っております。また、3年近くともに体を動かしていなかったため、体力が少し衰えているのが自分でも感じられることから、休日を利用して最近始めたゴルフなどを定期的に行って、これからの夏場に向けてがんばっていきたくてです。

私自身まだまだ未熟者ですがこれからもよろしくお願い致しますm(_)_m

実用化へ向けての【除雪車支援 ICTシステムの研究開発】がスタート

昨年度、総務省信越総合通信局では、上越地域において、平成20年度調査研究として、「豪雪地域におけるICTを活用した安心安全なまちづくりシステムに関する調査研究会」を運営する幹事団体・企業を公募し、くびき野地理空間情報センターが受注しました。

長岡技術科学大学の山崎教授を座長、当社の宮下を作業部会長とし、「除雪車の安心安全運行を支援する情報通信技術 (ICT) の調査研究」をテーマとして、調査研究および実証実験を実施しました。

本年度は、その結果を踏まえ、新たに総務省の公募事業「戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE)」（地域ICT振興型研究開発）で山崎教授の提案が採択され、引き続き、同開発プロジェクトメンバーで課題解決のためのICT技術の活用とその実用化の可能性を研究開発することになりました。

詳しくは、関連URLよりご確認ください。

<http://snowman.nagaokaut.ac.jp/s-blower/fswiki/wiki.cgi>

車両搭載型3Dスキャナー計測 (走る測量機)



3Dスキャナーによる測量事例の紹介

受注した現場は、急傾斜地であり、斜面を登ることが困難なため監督員と協議の上、3次元レーザースキャナーを使用し、計測を行いました。道路部および構造物箇所については、TS等による実測データと、3Dデータとの比較検証を行った結果、数cm程度の較差であることが確認できました。

危険な現場でしたが、3Dスキャナーを利用することで、短時間かつ安全に作業することができました。

スキャンニング密度が作業コストに大きく影響するため、用途に応じてスキャン密度等をうまく設定して計測することが、この作業のポイントであると思います。

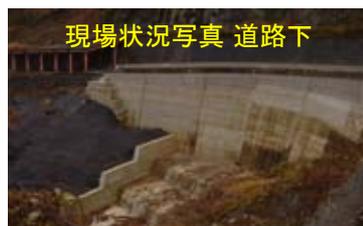
得られた3D画像は、視点を変えることにより、現場の状況が様々な方向から視覚的に判断が可能です。これらの付加価値を、さまざまな分野に利活用することで、新しいビジネス展開を期待するものです。

(齊木編集員)

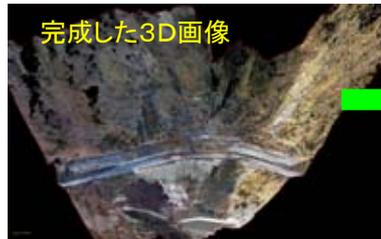
現場状況写真 道路上



現場状況写真 道路下



完成した3D画像



完成図面



妙高市が「GISとGPS」を活用した、「除雪管理システム」を本格導入

妙高市では、最新の情報技術を活用したリアルタイムな除雪管理体制の構築、冬期住環境改善、住民サービスの改善を目的に、平成16年度より、(協)くびき野地理空間情報センターと協同して、下記の調査研究に取り組んできました。

その結果、システム改造、通信システムの検討、費用対効果などの検証・評価が完了し、除雪管理システムとして、平成20年度から本格導入したものです。

本システムは、検証・評価項目に示す機能の他、自治体のニーズに合わせた様々な特色を持っています。

- (1)リアルタイムな全除雪車両位置管理
- (2)リアルタイムな除雪進捗状況管理
- (3)除雪日報の自動出力と除雪費用の自動算出
- (4)除雪車等に関する問い合わせ対応

このシステムは、当社の除雪管理システムを元に改造、適用されたもので、京セラコミュニケーションシステム株式会社のSAVE PLATFORM(セーブ・プラットフォーム)を通信システムとして採用し構築されたものです。今後、庁内LAN上での公開や市民向けの公開などが検討されています。

この紹介記事は、平成21年3月30日付けで、下記を含む17のメディアに取り上げられました。詳細はそちらでご覧願います。

▼Yahoo!ニュース - ITmediaプロフェッショナルモバイル

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20090331-00000020-zdn_m-mobi

▼ITmediaプロフェッショナルモバイル

<http://www.itmedia.co.jp/promobile/articles/0903/31/news010.html>

▼livedoorニュース - ITmediaプロフェッショナルモバイル

<http://news.livedoor.com/article/detail/4086866/>

▼NIKKEI NET 日経プレスリリース

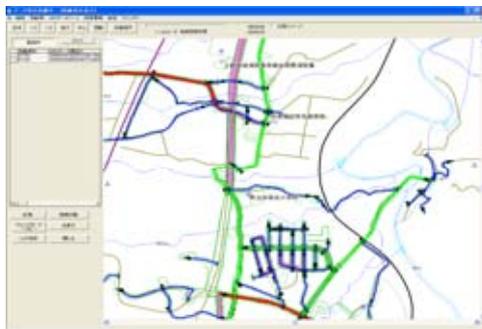
<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=216493&lindID=1>

▼日刊工業新聞 Business Line

<http://www.nikkan.co.jp/newrsls/rls0331s-02.html>

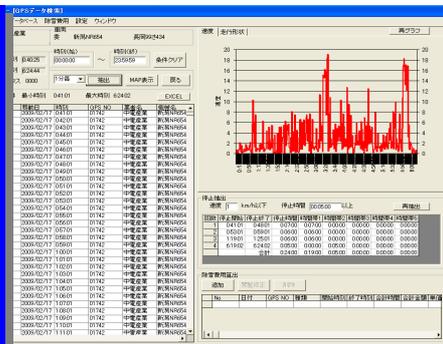
詳しくは下記、URLにてご覧下さい。

http://www.kuwa-soku.co.jp/gis/news_details.php?id=2



出動した全除雪車両をリアルタイムに同時表示して現在置がわかります。もちろん特定車両を抽出し、さらに詳細な位置を把握・作業車両への連絡も可能です。

得られたGPSデータから、個々の車両の位置、時間、速度(停止を含む)などを割り出しそれを基に除雪日報の自動出力、除雪費用の自動精算が可能です。また、右記のような、時間/速度の関係をグラフに表すことも可能です。



補償業務管理士 (物件部門・事業損失部門) 渡邊 文さん



補償業務管理士検定試験に合格し、今年度より補償業務管理士として物件部門・事業損失部門の業務を行えるようになりました。補償業務管理士資格は、基本的に(社)日本補償コンサルタント協会が主催する研修会を受講することにより受験する資格を得て、資格試験(筆記、口述)を受け合格すれば資格が付与されます。

この資格は、民間資格でありながら、一般競争参加申請において有資格者として認められているなど、国家資格と同等の地位が付与されており、補償業務を行っていく上では必要不可欠な資格です。

私の場合、補償業務に10年以上従事しなければ受験することができず、試験に対する情報も少なく、合格への道りは平坦なものではありませんでした。しかし、受験経験のある諸先輩方にアドバイスを頂き、会社や家族の協力を得て、合格することができました。

補償業務管理士の資格取得は、補償業務に携わる者として「やっとスタートラインに立った」と言う思いです。有資格者としてのプレッシャーと戦いながら、更なる部門の取得に向けて、日々精進していくつもりです。

第2種下水道技術者

飯塚 和美さん



「下水道技術検定(第二種)」は、下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術と知識に関する試験です。下水道の整備状況が50%にも満たない上越市は、全国及び新潟県に比べても低い普及率となっていて、設計業務を行う私は、資格取得に興味がありました。

昨年度、会社の資格手当の見直しが行われ資格取得報奨金がもらえることになったことから、俄然やる気になり、自分なりの試験対策方法(?)で勉強しました。ひとつは、休みの日に集中して勉強すること…。毎日少しずつできれば良いのですが、誘惑(お酒!!)が多く全然だめでした…。そしてもうひとつは、過去問題をできるだけたくさんこなすことです。ある程度パターンが読め、類似問題も多々出題されています。今年も、この資格取得方法で自己のスキルupを目指しつつ、臨時収入を確保するために頑張りたいと思います…。

合格おめでとうございます!
これからの益々の活躍を
期待しています。

第2種 衛生管理者

山下 美智子さん



第2種衛生管理者免許を取得したいと思い、10月の試験を目指し7月頃から準備を始めました。

3?年前の卒業証明書などとれるのかしら?勉強しても右から左?勉強する時間もなかなかとれません。

会社から帰宅し家事を済ませると、今度は睡魔が襲ってきます。どうにもならず仮眠をとると、勉強を始めるのはいつも夜中。一日に1時間、2時間というまとまった時間を自分のペースで取るのは無理なので、最初から試験の一ヶ月前になったら一日30分づつ勉強することにしていました。時には10分、15分で意識がなくなり、後は夢の中…という日もありましたが、何とか「労働生理・労働衛生・関係法令」の3科目を、程良く理解し、合格出来ました。

水路測量技術 (沿岸1級)

滋田 直樹さん



入社して18年が過ぎ、気づいたときには、海の仕事が専門分野になっていました。

朝早く現場に行き、睡魔と船酔いに負けずがんばっている中、今回、新しい技術を身に付けるということもあり、1級水路測量技術(沿岸)検定試験に挑戦してきました。水路測量技術検定試験とは、海洋の利用、開発、環境保全等に資するために行われる水路測量に従事する技術者の技術の標準化、向上を図るため昭和51年度から実施されてきたもので、関係官庁において活用されています。

この検定試験は、1次試験と2次試験がありますが、まず1次試験免除になる研修を受け、修了した後2次試験に臨みました。研修では、実務を中心とした講義を受け、講師に「試験対策は?」と聞くと、テキストを全部読めばイイ!との一言。研修を終え、2次試験までの1ヶ月間猛勉強したのは、言うまでもありません。でもその甲斐あって、無事合格することができました。

これからもこの資格や経験を活かし、がんばっていききたいなあ、なんて思っています。

情報処理技術者 (基本情報技術) 折橋和久さん



平成21年度、春期情報処理技術者試験(基本情報技術)に合格いたしました。これは、高度IT人材となるために必要なファンダメンタルナレッジ・スキルをもち、実践的な活用能力を身につけていることを証明するものです。

担当セクションである地理情報システム開発室において必要とされる資格であり、またテクノロジー知識だけでなく、マネジメントやストラテジの能力も証明するものでもあるため、今回の試験合格は、GISの開発のみならずGISの普及、浸透、研究にも生きるものだと考えています。

これに慢心することなく、さらなるスキルアップ、技術向上に精進する所存です。

◆ 不況に負けるな「桑原測量社 総決起大会」

2月20日、「やすね」にて当社の新年会を行いました。今回の飲み会は、「不況に負けるな！ 決起大会」とタイトルがついており、最初は、いつもの飲み会とはちよっぴり違う雰囲気を感じましたが、新入社員の歓迎会も兼ねており、お酒も入り会が進むにつれて、カラオケあり笑いありのとても楽しい会となりました。

100年に一度の不況と言われているキビシイ時代ですが、働ける喜びをかみしめつつ、「ピンチはチャンス」と前向きに考え、桑原測量はこれからも明るく元気に前進していきたいと思えます。最後は、おきまりの「桑原測量、バンザーイ！」ではなく、戦地に向かうサムライのごとく、「えいえいおー！」のかけ声で閉めくりました。

また次回も、楽しく飲みましょう(^o^)

(丸山編集員)



◆ 高田城址公園百万人観桜会

年度始めの社内行事第1号 in 高田公園

何年ぶりだろう地元にいながら現地会場での観桜会。

今年、例年になく天候・気温に恵まれ、県外・県内・地元と大勢の人達で賑わったそうです。

早朝より新人(村松・折橋)さん、会場確保ご苦労様でした。(写真1)

早朝散歩(AM6:30頃)の県外老夫婦に(兄さん達、はよう何しとるねん)と聞かれたエピソードも・・・

さて、花より団子、いやいやアルコールが一番。(写真2)いや違う。時間がたてば当社男性軍、頼まれもしないのに上越タイムスのお姉さんの所へインタビューを受けにノココお出かけ。(写真3)

(対応者より内容確認)

・どこからお花見に・・・(地元です。)

・きれいと思う所は・・・(三重橋と極楽橋。いや姉さんかな。)

・来年も来ますか・・・(もちろん、インタビューもお願いします。)

来年も好条件に恵まれた現地会場での観桜会を楽しみにしています。

(白川編集員)



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)

◆ グラム研修ツアー体験記

5月中旬、当社のお客様が主催するグラムツアーに参加しました。今までは、世界遺産などを忙しく見て回る旅が多かっただけに、南国のリゾート地は、とても新鮮でした。

2日目、ガイド付きの専用車で、一緒に中・南部一帯を観光しましたが、途中で食べた椰子の刺身(果肉)は大変美味で、新しい発見でした。夜は、マジックショーとロブスターをメインとする豪華ディナーを満喫しました。

3日目は、「それぞれのグラム」で、私は、潜水艦に乗って、美しい珊瑚礁や珍しい魚達との出会いを楽しんだ後、最北端のリティディアンビーチで、少しばかりフィリピン海との戯れの時を過ごしました。(最近、お腹が出てきたため、写真は非公開です。)また、著名なガイドに出会えたお陰で、ちょっとしたジャングル探検も経験することができました。

3泊4日の短い旅でしたが、休暇は会社持ちの上に若き美女と一緒に、ラッキー、ラッキーの旅でした。

(投稿者: 飯田さん)

投稿者の飯田さん、椰子(やし)のお刺身を食べています。



次ページにも、楽しそうな写真を載せました。

グアム研修ツアー写真集



恋入岬



リティディアンビーチ



クルージング



潜水艦

来年もお客様が企画されるかもしれませんが、行けるかどうか確定は出来ませんが、もし行けたら・・・での希望が有りましたら、総務課まで申し出てください。2名までですよ・・・旅行費用など一部会社で負担しますが、自前はもちろんありますよ！！



パラセーリング
やっている彼女、ダレ...??

Kuwa Soku Report 6

● 社員投稿記事

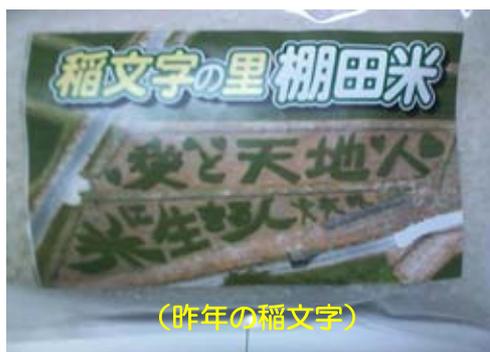
◆ 棚田稲文字制作に測量技術で協力しました（清里区）

水田に文字をかたどって稲を植える「棚田の稲文字まつり」が5月3日、上越市清里区棚田の水田で開かれました。参加した約百人は、1時間かけて水田に今年のお題【義と愛の米】の字を稲で表現するように植え付けました。地元有志でつくる「稲文字研究会」と「同町内会」が実施していますが、稲を植え付ける位置は、同町内に住む当社のTさんと、もう一人の測量技術者が担当しました。

今年の文字は、「上杉謙信や直江兼続が義と愛の精神で上越地方を守っていた時代から米を作り、命をはぐくんできた」という意味を込めたと言います。稲文字の文字は、毎年公募して決めるそうで、今年は【義と愛の米】となったようです。秋になれば、きつこがね色の文字が鮮明に描かれた感動的なシーンに出会うことができるでしょう！

皆様も是非、このころ見学にきて見ませんか！ お待ちしていま～す。

添付の米袋のラベルは昨年の完成した稲文字「愛と天地人、米に生きる人」を撮影した風景です。素晴らしいですね！ 棚田米として販売していますので、是非とも試食してみてください。



（昨年の稲文字）



Kuwa Soku Report 7

● 桑原測量広報室から

ボリュームたっぷり、久しぶりの【桑測レポート】いかがでしたか。VOL.6より若干年輩の1年生ですが、委員として仲間入りさせて頂くことになりました。今後、広報誌作成に協力させていただきます。

新入社員の意気込みには、活気・元気・ヤル気が伺え、美女と野獣のグアム旅行、技術情報での新技術提供等、幅広い広報誌が出来上がったと思います。

読者の皆さん、そろそろ夏本番です。体調管理に十分気をつけて夏を乗り切ってください。

これからも桑測レポートを宜しくお願いします。

（白川編集員）

地域・社会に貢献できる会社をめざして
株式会社 桑原測量社

- 本社所在地
〒943-0873 新潟県上越市大字西田中62番地14
- 電話：025-525-9100
- FAX：025-525-0840
- URL：<http://www.kuwa-soku.co.jp/>
- 発行：株式会社 桑原測量社 広報室
- 編集委員：宮下・白川・斉木・山崎・渡邊・丸山